

利用者懇談会「館長と語ろう」実施報告書

1. 日時・会場

平成 18 年 6 月 22 日(木)
16 時 30 分～17 時 30 分
附属図書館本館 1 階会議室



2. 出席者

1 年次学生から 3 名
総合科学部 2 名，薬学部 1 名
(歯学部 1 名急用により欠席)
附属図書館から 6 名
附属図書館長，学術情報マネジメント課長，学術情報サービス課長，
図書情報係長，利用支援係長，分館利用支援係長
(その他記録担当として係員 2 名)

3. 内容

図書館の感想，要望などについて懇談

【メールマガジン掲載記事】

この度附属図書館では平成 18 年 6 月 22 日(木)夕方 16 時 30 分より、常三島キャンパスの図書館本館で図書館利用者懇談会「館長と語ろう」を開催しました。

この懇談会は、利用者ニーズの把握策のひとつとして実施したものです。

今回は、徳島大学附属図書館を利用しはじめて半年以内の方を対象にし、総合科学部の 1 年生 2 名、薬学部から 1 名の方に集まっていただきました。茶話会形式で、図書館に対して自由に発言し、細井徳島大学附属図書館長、図書館職員と約一時間にわたって意見交換を行いました。

冷房を早く運転して欲しい、入館する際に学生証を取り出してゲートに読み取らせるのが面倒だ、書庫への経路が入り組んでいて場所がよく分からないなどという指摘をいただきました。小説や音楽 CD の品揃えが大学生の希望に全くマッチしていないという厳しい意見もいただきました。

また図書館で図書を探すときに、いきなり書架の前に行くのではなく、OPAC で検索してから行くことが多いという報告は、新入生の利用状況を想定していく上で重要な手がかりになると考えられます。

同じメンバーで半年以内にもう一度開催する予定です。参加者が今回の発言で図書館に対する思いがどのように変化していくのか、あるいは図書館がどのように変化したのか、変化しなかったのかを検証していただくことにしています。

4. 意見・質問

【良いところ】

- 新聞がある。机が広い。一人で来るのが多い。ひまつぶし、勉強に利用
- コンピュータが長い時間使え、無料。夜遅くまで居ることがよくある。他の教室のPCはまだ使ったことがない
- 貸出冊数・日数は大体満足している。

【悪いところ】

- 常三島は、蔵本にくらべ暗い感じがする。照明でもなく、フンイキが
- 照明は、蔵本が明るい。使い勝手は変わらない。
- レポート作成用の参考資料が少ない。
- ワードが入っていないコンピュータがある。(台数に限り)
- 入館のとき学生証を通すのがめんどろである。
- 開架閲覧室のガラスの仕切りはいらない。(狭く感じるのか?)
- 3階閲覧室の床をじゅうたんに。足音が響かないように
- 書庫が迷路のよう。集密書庫がわかりにくく、遠い。

【要望】

- コンピュータにプリンタがほしい。
- 洋楽の雑誌がほしい。クロスビートなど
- 返却日遅れのペナルティをなくしてほしい。
- 冷房を入れてほしい。共通教育の講義室によっては入っているときがある。
- 小説やエッセイの本を入れてほしい。
- 今はやりの音楽CDがほしい。クラシックばかりでなく。小田和正とか山崎まさよし
- 単行本は、生協に並んでいるような新しいものを入れてほしい。
- 新聞の部数を多くしてほしい。朝日、毎日

【規則, マナー】

- 携帯電話は、一人だけでも使っていれば気になる。
- 飲食できる部屋があればよい。(場所でなく)

【その他】

- 専門書以外の小説とかの読み物があることを知らなかった。
- 講義のない時は、学部のスタジオ、総合科学部3号館スタジオを使う。
- 教科書を図書館に置くことは、自分で買えば、書き込みも自由にできる。
- 読みたい本が貸出中の場合は、市立の図書館に行く。
- 本の探し方
 - 先に本棚に行って、なければコンピュータで検索
 - コンピュータで検索してから書棚に行く。
- 椅子のすわりごこちは気にならない。